

論文課題（総合土木）

次の課題の中から一つを選んで記述しなさい。

- 1 県では、国等と共に気候変動による水害リスクの増大に備え、国、県等が進める河川整備等に加え流域の自治体、企業、住民等が協働し、流域全体で対策を行う「流域治水」の推進に取り組んでいます。効果的と思う具体の施策について、あなたの考えを述べなさい。
- 2 県では、橋梁、トンネル、港湾等の公共土木施設を高度成長期以降集中的に整備したため、急増が見込まれる維持管理や更新の費用の縮減・平準化が大きな課題となっています。施設の機能を維持しながら、実現するための方策について、あなたの考えを述べなさい。
- 3 今冬の大雪は、道路の渋滞、鉄道の遅延など、県民生活へ大きな影響を及ぼしました。降雪時において、県では県道の除雪や県民への情報提供等を担っていますが、こうした大雪に備え、特に必要と思われる具体的な県の施策について、あなたの考えを述べなさい。
- 4 富山県では、農地の大区画化・汎用化や農業水利施設の長寿命化など農業生産基盤の整備を進めてきています。農業の競争力強化や農村の防災減災対策の推進が求められる中、農業・農村をとりまく状況を踏まえるとともに、ICT（情報通信技術）の利活用を含めて、今後どのように農業生産基盤整備を進めるべきか、あなたの考えを述べなさい。
- 5 県土の7割を占める中山間地域は、農林水産物などの供給、国土の保全、水資源のかん養、美しい景観の形成などの多面的機能を発揮する重要な役割を果たしていますが、近年、人口減少などによる集落機能の低下や担い手不足に加え、野生鳥獣による農作物被害により地域活力の低下や荒廃農地の増加が懸念されています。今後の中山間地域の農業農村の振興策について、あなたの考えを述べなさい。